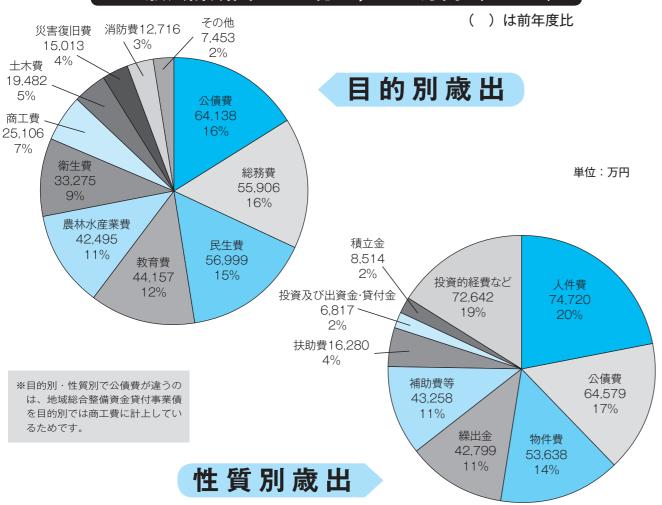
38 億 3,247 万円 般会計歳出 (8.0%)



起債制 限比率

限および公債費負担適正化比率は6・9%で、前年度に比べ0・7ポイント低くなっ比べ0・7ポイント低くなっ比がの前体は、地方債許可の制定の制限を受ける起債制限 村では良質債の借入れに努 計画の策定等を要しますが、 めており、 地方債の許可につい 健全な財政運営を て _

基金、

減債基金等が減少し

ことによるものです。

等が増加した反面、

高齢者肉用雌牛貸付基金

これは、 7 %

いたてっ子未来基

末に比べ9056万円(3

の減となっています。

23億4633万円で、

前年度

平成19年度末の現在高は

積立金現在高

7ページをご覧ください。※財政用語の解説については

平成19年度 飯舘村決算公表

単位:万円

億8,139万円 (8.1%)

その他7,707

1.6%

也方交付税

202.210

50%

) は前年度比

平成19年度の村財政の動き承認されました。 対の平成19年度各会計の決算 般会計の主な内容等をご

۲

歳入については、

441万円(8・0%)の 歳入が3億467万円(8 1%)の増額、

歳入歳出総額

万円の黒字決算となりま た。これを前年度と比べると 円で、差し引き2億4892円、歳出総額38億3247万円、歳出総額40億8139万 歳出も2億8

税源移譲 増 反面、 扶助費、 出金、

全体の27・3%、前年度と比 0・9ポイント 合わせて90・7%で前年度を 自主財源 11億1664万円で、 上回り

相差树挪

村債 27, 560

7%

城特树浦

繰越金11,566 財産収入1,724

その他 18,316

県支出金

40, 589

10%

諸収入8,095

繰入金 28,478

6%)の増となっています。 べて1億5867万円(16 歳入

た反面、

員給与などの人件費等が減少 の増となっています。これは、 は15億5580万円で、前年度 的経費(人件費·扶助費·公債費)

また、性質別で見ると、義務

に比べ5873万円 (3・9%)

職

国庫支出金 7,800

2%

金等の繰入金などが増加 話地域解消事業等による県支 備事業補助金や携帯電話不通 地域づくり交付金(国庫支出による地方譲与税や元気な 歳出については、 等が減少した反面 地方交付税、 財政調整基金や減債基 観光拠点整 村民

増加しました。 臼石単独住宅建設工事などが 带電話不通話地域解消事業 観光拠点整備事業、 貸付金等が減少

> 金や地方譲与税、 ています。これは、

地方特例交

国庫支出

万円 (5・2%) の増になっ 昨年度に比べて14億8599 全体に占める割合は72・7%

29億6475万円で、

歳

歳

目的別に見ると、

公債費が6

加したことによるものです。 支出金、地方交付税などが増 付金などが減少した反面、

率は過年度・現年度課税分円(6・5%)の増で5億4円(6・5%)の増で5億4

育費、

農林水産業費と続いてい

め、次いで総務費、民生費、 億4138万円で16・7%を占

教

事業債、 (5・7%)の減となってい るものです。 業債等が減少したことによ 方道整備事業債、 般廃棄物処理事業債、 債が増加した反面 ます。これは、臨時財政対策 度に比べ2億9118万円 47億7518万円で、 平成19年度末の現在高 辺地対策事業債、 一般公共事 、過疎対策 臨時地 前年

経常収支比率

村債現在高

比べ0・3ポイント高い84・経常収支比率は、前年度に財政構造の弾力性を示す

5%です。

これは県平均より

低いものの、

引き続き経常的

経費の抑制に取り組む必要

があります。

費が5億1070万円で、

84万円で、うち普通建設事業

投資的経費は6億60

度に比べ9025万円(21:5%)

の増となりました。

広報 いりだて

繰越金、村税などが増加した

ことによるものです

どが減少した反面

少した反面、繰入金や、諸収入や財産収入な

【財政用語の解説】

自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源で、 村税等が該当します。自主財源のその他は、分 担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、 寄附金、繰入金、繰越金、諸収入が含まれてい ます。

依存財源

国庫支出金のように、国や県の意思により定 められた額を交付されたり、割り当てられたり する収入です。依存財源には、地方交付税、国 庫支出金、県支出金、地方債などが含まれます。 目的別歳出

歳出を行政目的によって分類したもので、村 の予算区分です。

性質別歳出

性質別とは、歳出を経済的性質によって分類 したものです。

経常収支比率

その団体の財政構造の弾力性をはかる比率と して使われます。この比率は、一般的には都市 では75%、町村では70%程度が適当と考えら れ、それぞれ5%を超えるとその地方公共団体 ※()内は前年度比 は弾力性を失いつつあると考えられます。

起債制限比率

自治体の収入に対する借金返済の負担を示す もので、総務省が地方債の発行を許可する際の 基準となります。20%を超すと総務省が起債を 制限します。低いほど政策的に使えるお金が多 くなります。

地方交付税

所得税など国税の一定の割合を、全国の市町 村の実情に応じて国から配分される交付金で す。

村 税

村民から直接村に納入される税金(村民税、 固定資産税、軽自動車税、たばこ税、特別土地 保有税)です。

国庫支出金

分野ごとに一定の補助率で国から交付される 助成金です。

分野ごとに一定の補助率で県から交付される 助成金です。 繰入金

れるお金です。

財産収入 村の有する財産(公有財産、物品、債権、基

基金(村の貯金)や他の会計から繰り入れら

金) に係る貸付や交換または売払いによる現金 収入です。

諸収入

他の科目に含まれない収入をまとめたもの (延滞金、加算金および過料、貸付金元利収入、 受託事業収入など)です。

村債

村が事業を行う場合に、国などから借りるお 金です。期間を定めて返済します。

【各会計の決算状況

国民健康保険特別会計事業勘定

歳 入 9億 3.435万円 (5.7%) 歳 出 8億 7.714万円 (5.9%)

国民健康保険特別会計診療勘定

歳入 9.756万円 (△0.3%) 歳出 9.747万円 (△0.3%)

診療所特別会計

歳入 9.661万円 (1.0%) 歳出 9.626万円 (1.3%)

簡易水道特別会計

歳 入 1億7,250万円 (2.0%) 歳 出 1億7,203万円 (1.6%)

老人保健特別会計

歳 入 6億5,457万円 (△2.7%) 6億5.457万円 (△2.7%)

農業集落排水特別会計

歳入 7.310万円 (△5.5%) 歳出 7.273万円 (△5.4%)

介護保険特別会計

歳入 4億5.047万円 (3.3%) 歳出 4億4.893万円 (3.2%)

総務費

村全般の管理や企画調整などに

9万8.467円

村民一人当たりに使われたお金

(1円未満四捨五入)

60万4,681円

(目的・性質別歳出 普通会計)



農業水産業の振興に 6万7.048円







清掃、予防衛生に 5万2.501円

福祉の増進のために 8万9.933円

消防費



消防・防災のために





道路や橋の整備に 3万 739円 63 ⊞

商工業の振興に 3万9.611円

その他



3万5.451円

2万





10万1.197円



学校教育の充実に 6万9.671円

平成19年度(目的別)歳出の主な内容

総務費

○携帯電話不通話地域解消事業(大倉地区)

5.701 万円

○産地形成促進施設改修事業(もりの駅まごころ 改修) 13.385 万円





6.498 万円

469万円

○地域づくり推進事業(やるきつながりプラン補 助金) 1.036 万円 ○地方バス路線維持対策費 767 万円 ○知的障がい者施設訓練等支援費 2.640 万円

○選挙費(参議院議員選挙、参議院議員補欠選挙) 1,286 万円

民生費

1.815 万円 ○重度心身障がい者医療費 ○身体・知的障がい者施設等給付費 3.227 万円 ○児童手当(延べ7697人) 5.686 万円 ○乳幼児医療費扶助 1.124 万円 ○までい子育てクーポン交付事業(交付者198人) 991万円

○保育所運営事業(平均入所 42 人)

衛生費 ○総合検診(基本健診 1,495 人) 2.817 万円 ○妊婦健診助成事業(76人) 102万円 ○合併処理浄化槽設置整備事業(15基)787万円

○南相馬市雫浄化センター負担金 4.217 万円 ○資源回収奨励金(20団体) 316万円 ○焼却施設炉内耐火材修繕工事 465万円 ○最終処分場嵩上げ工事 694万円

農林水産業費

○中山間地域等直接支払事業 6.489 万円

○中山間地域総合農地防災事業(飯舘西部)

○森林環境交付金事業(あいの沢遊歩道チップ散

布、ベンチ・テーブルなど)

○公有林造林事業 446万円

商工費

○融資保証料助成事業(16件) 257 万円

○企業立地支援事業(㈱ワールドインダストリー 福島工場、(株)菊池製作所) 3,585 万円

土木費

○村道維持補修工事(10件) 1,299 万円 ○村道除雪対策費(出動3回) 810万円 ○大火比曾線道路改良舗装工事 3.411 万円 ○深谷飯樋線道路改良舗装工事 3.092 万円 ○松塚モミノ木線局部改良舗装工事 858 万円 ○沢道線 396万円

消防費

○広域市町村圏組合負担金 1億394万円 ○女性消防隊消防操法全国大会出場 151 万円 ○相双地方総合防災訓練 206 万円

教育費

○奨学資金貸付事業 (新規 30 人、継続 39 人)

3.467 万円

282 万円

○早ね・早おき・朝ごはん事業 259 万円 ○中学校バス購入(1台) 1.332 万円





○飯樋小学校プール修繕工事 147 万円 ○飯桶幼稚園園庭整備工事 199万円 ○海洋アドベンチャースクール(78人) 429万円 ○いいたて次世代塾交付金(先進地視察研修など)

200万円

○日独スポーツクラブ活動支援事業 50万円

○給食センター排水改修工事 153 万円

7 広報 いいたて